

本年4月5日、岩手県指定無形民俗文化財に指定された川崎町門崎の「布佐神楽」。同神楽の保持団体の認定を受けた「布佐神楽保存会」の代表千葉仁一さんは6代会長だ。

29日に行われた布佐神楽の「創立150周年記念式典・祝賀会」(同実行委主催)では「150年という輝かしい伝統と歴史を築き上げてきた先人、先輩たちの偉業をたたえたい」とあいさつ。「その労苦をしのび、後世に伝えること、長い伝統に培われた芸術文化の振興を図ることを目的に式典を行えたことは意義深い」と脈々と受け継がれてきた伝統に思いをはせた。

布佐神楽は1863(文久3)年、相川村(現在の市内舞川)から神楽を伝授したのを創始とし、時代の流れと共にさまざまな神楽の要素を採り入れながら、大正時代までに現在の芸風の基礎が培われてきた。第2次世界大戦後、後継者難に陥り、衰退の一途をたどった時期もあった。しかし、地元の人々の「布佐から神楽をなくせない」という強い思いで1972(昭和47)年、保存会が結成された。「まさに地域ぐるみの取り組みだった」と振り返る。

以降、「後継者の育成」を保存会事業の最重点に掲げ、活動を続けてきた。布佐地区に鎮座する神社の春秋例祭には欠かさず神楽を奉納したり、地域内外の催事や芸能祭に招かれて舞ったりすることも多い。海外公演も4回を数える。

「多数の演目を保持・継承していることも布佐神楽の特徴」と誇る千葉会長。150年という節目に立ち会

「布佐神楽」は後世に伝えたい私たちの誇り。  
「つなぎ役」として頑張っていくよ。



布佐神楽保存会 6代会長  
**千葉仁一さん**  
Chiba Jinichi 64 川崎町門崎

えたことに「大きな喜びを感じている」と目を細める。

県の無形民俗文化財に指定されたことについては「重責を背負った感じだ」と表情を引き締め、「この記念すべき日を機に、郷土に誇る無形民俗文化財は古来の文化遺産であるという認識を新たにしたい」と語る。さらに、伝承と後継者育成に取り組むことの重要性を自覚し、「これから

も地域を挙げて精進していく」と決意する。

150周年も「通過点」と言い切る千葉会長。「これから200年、300年と続けていけるよう、『つなぎ役』として頑張っていくよ」と語る表情には、優しさと使命感がにじみ出る。

次の舞台は7月の川崎公民館での発表会。今日も稽古場には、文久から受け継がれてきた太鼓の音が響く。

**Profile** 1949年生まれ。平成21年4月、布佐神楽保存会6代会長に就任、現在に至る。保存伝承活動、後継者育成に精励。創立150周年記念式典実行委員長を務める。妻朋子さんと2人暮らし。川崎町門崎字布佐在住、64歳



創立150周年記念祝賀会で披露された布佐神楽。演目は「叢雲神語(八岐大蛇退治)」。布佐神楽の「天井の大蛇」は自在に操られる。大蛇と素戔嗚尊の躍動感のある「戦い」は見応えがある。

CONTENTS 5月の目次

- 02 **巻頭スペシャル**  
世界に向けて飛躍するチャンス
- 04 **一関の四季彩**  
磐井川堤防の桜
- 05 **(愛)な人 いちのせきを愛する人**  
千葉仁一さん 川崎町門崎
- 06 **特集1 学校統合**  
**閉校**
- 14 **市役所からのお知らせ**  
ご当地原付きナンバー7月1日から交付します/勝部市長のお仕事百景 ほか
- 16 **特集2 動き出した地産外需**  
**東京で一関を売る**
- 20 **まちのトピックス**  
一関・第40回市民マラソン大会/花泉・岩手県南・宮城県北選抜神楽花泉大会/大東・アストロロマンGWフェスティバル/千厩・支所前庭で結婚式の前撮り/東山・朗読コンサート/室根・一本桜鑑賞会/川崎・選抜中学校野球大会/藤沢・東北選抜ソフトボール大会で優勝
- 22 **市民の広場**  
笑顔でGood(木村久美)/ふれーふれークラブ(大東中女子バレーボール部)キッズ写真館/公民館さごさいん。(一関公民館)
- 24 **健康コーナー**  
健康情報/元気のひみつ(三浦千代子)/健康塾(熊谷博伸)
- 26 **施設だより**  
博物館/図書館/催し物案内/掲示板 ほか
- 28 **お知らせ**  
募集/催し/講座/相談/お知らせ ほか
- 34 **NEWS HOTLINE**  
恒例の「一関春まつり」/「FMあすも」が開局一周年/鳥獣被害対策実施隊員69人に辞令/骨寺村荘園交流館展示棟誕生/千厩給食センターが始動/藤沢こども園新園舎が完成
- 32 **わたしの夢**  
菅原慎さん 涌津小6年



一関の四季彩

卯月の風景

磐井川堤防の桜

満開の桜に癒やされ62年  
夜はライトアップも

磐井川堤防の桜は一関の春の風物詩。1947年のカスリン台風、48年のアイオン台風による大きな災害から早期復興を祈念して51年に植樹された。以来、毎年春には多くの市民に憩いの場を提供してきた。



並木は磐井橋から上ノ橋までの間。来年の伐採を前に連日、最後の桜を楽しむ人が訪れた。子供たちと花見を楽しんだ菊池憲哉さん(写真上)は「今が見頃でとてもきれいですね。子供たちも喜んでいます」とにつこり。夜は、堤防に設置された投光器から光が放たれた桜並木をライトアップ。光に反射した花びらは、夜空に浮かび上がる幻想的な夜桜に。

Ichinoseki City  
岩手県一関市

東北のほぼ中心、盛岡市と仙台市の中間にある一関市は古くから岩手県南、宮城県北エリアの中核を担ってきました。2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の7市町村が合併。11年9月には藤沢町と合併し、「人と人、地域と地域が結び合い、未来輝く いちのせき」を目指して前進しています。

DATA ■面積 1,256.25km<sup>2</sup> ■人口 126,635人(男61,193人、女65,442人) ■世帯数 46,136戸 ■市花 なのはな ■市木 ぶな ■市鳥 うぐいす (以上2013年5月1日現在)